

報告 1



市民参加で出会いと挑戦の教育づくり 特定非営利活動法人アスクネット 平成 27 年度事業計画書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

1. 平成 27 年度事業の方針

- (1) コーディネート業務の質の担保およびさらなる向上をめざし、コーディネート業務の標準化モデルを作成し、キャリア教育コーディネーターとしてのスキルを向上させていく。

コーディネーターの数が増え、またフィールドワークを交えた年間サポートやカリキュラム開発など、業務が複雑多岐にわたる中で、コーディネート業務におけるバラつきが目立つようになった。そのため、基本に立ち返り、コーディネート基準を設けることで、各コーディネーターの特性を生かし、コーディネーター団体としての質を担保していく。また、事例の共有を図るカンファレンスを定期的の実施し、各コーディネーターのスキルを向上させ、より多くの学校、地域における課題解決に挑戦する。

- (2) アスクネットのキャリア教育の活動が広く校内に浸透していくよう、校内の体制づくりを意識しながら事業を行い、また、教科を意識したキャリア教育を推進する。

年間を通じたプログラムが増える一方で、担当教員から学校全体への取り組みへと十分に広がらない現状が見受けられる。生徒の成長をより効果的に促していくためには、既存の学校行事や教科学習などとの連動し相乗効果をはかる必要がある。そのため、より多くの先生方にアスクネットが支援している取り組みを理解して頂けるよう、校内での教員向け説明会や報告会を実施し、積極的に校内での体制づくりに努めていく。

- (3) メディアを使い分けた情報発信と、会員はじめステークホルダーとの関係を強化していく。

ホームページ、ブログ、フェイスブック、メールマガジンと現在団体としての様々な情報発信ツールが存在するが、それぞれの特徴、良さを使い分け、戦略的な情報発信を行う。また同時に情報を受け取る手となる会員をはじめ、ステークホルダーとの関係を丁寧に構築し、団体の活動の更なる理解と協力の輪を広げていく。



2. 事業の概略

<特定非営利活動法人アスクネット理念>

地域の学校・市民・企業・行政・各種団体などと協力して、互いが学びあい育ちあう共同体づくりを進める。そこでの出会いをきっかけとして、人々とりわけ子どもたちが夢や目標をもって挑戦し、その中で成長していく学習を創造する。これらの多様な「出会い」と「挑戦」の機会を通じて、自らの人生を主体的に切り開き、社会をよりよくしていく主体者へと成長する過程を支援することで、誰もが心豊かに暮らせる社会を実現し、社会全体の利益の増進に寄与することを目的として事業を行なう。

定款上の事業と事業名の対応は以下の通り。

定款上の事業（第5条）	事業名
<第1項第1号> 学びあい育ちあう共同体づくりに関する知識、 経験の交流の場提供事業	①市民講師ナビ事業 ②教育CSR推進事業 ③キャリア教育コーディネーター育成事業 ⑦インターンシップ事業 ⑧高浜市委託事業 学習支援事業 ⑨名古屋市委託事業（市民経済局地域振興部） 協働コーディネーター事業
<第1項第3号> 学びあい育ちあう共同体づくりに関する普及 啓発、情報発信事業 <第1項第6号> 学びあい育ちあう共同体づくりに関する政策 提言、助言相談事業	④出会いと挑戦の教育普及啓発事業
<第1項第2号> 学びあい育ちあう共同体づくりに関する行催 事の運営協力事業	⑤教育イベント推進事業
<第1項第4号> 学びあい育ちあう共同体づくりに関する情報 受発信の場提供事業	⑥教育団体協働推進事業

以上



3. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

① 市民講師ナビ事業

学校や地域において、子どもと大人が出会い、互いに学びあい育ちあう「場」をコーディネートすることにより、そこでの出会いをきっかけとして、人々、とりわけ子どもたちが夢や目標をもって挑戦し、その中で成長していく学習を創造する。市民講師との出会いやインターンシップ等を通じた体験から得た刺激や学びを次への行動へとつなげられる学習計画と授業実施において、学校をサポートしていく。教員のプログラムへの評価の高まりを受け、より効果的なサポートへとつなげるために学校教育と地域社会について、現状と今後の在り方をコーディネーターが正しく把握し、支援へとつなげていく。

<事業方針>

- ア. 学校が抱えている課題や、今後求められる教育をコーディネーターが正しく理解することで、学校、教員のサポートを効果的に行う。
- イ. コーディネート業務で気付いたことや、ワークシート、プログラムづくり等のノウハウをコーディネーターで共有し、効率的かつ、質の高いコーディネートを行う。
- ウ. 児童、生徒たちに多様な大人との出会いを提供するとともに、仲間同士で主体的に学び合う講座の導入を意識的に手がけていく。
- エ. 事業担当者が広報の意識を持ち、各種メディアに取り上げられるよう努め、学校の新たな取り組みや子ども・若者の現状に関して、地域社会への理解を促進し、共感を高める。
- オ. 地域の企業・個人が地域のキャリア教育を支えていく人的・資金的ネットワークの構築を目指す。
- カ. 中・高連携、高・大連携を意識したプログラムを行う。
- キ. 総合的な学習の時間や課外活動だけでなく、教科連動を意識したプログラムを実施する。

<事業収支目標>

収入見込金額：3,000 万円、支出見込金額：2,700 万円

② 教育CSR推進事業

子どもたちに多様な学びの場をより多く提供していけるよう、昨年度までの実績を基に、「教育プログラムの協働実施」を中心に、企業が持つ資源が教育に集まるような流れをつくり出していく。また、平成 18 年度から継続して実施している「アイシン環境学習プログラム」をさらに発展させるとともに、新たなパートナー企業を開拓する。



<事業方針>

ア. アイシン環境学習プログラムをさらに発展させる。

具体的には、アイシン精機株式会社の支援で、刈谷市、知立市、高浜市、西尾市、みよし市、碧南市、幸田町、東浦町、および今期新たに参加する大府市の小学校に対して、年間を通じた体系的なプログラムを実施。アイシン・エイ・ダブリュ株式会社の支援で、安城市、岡崎市、蒲郡市内の学校に対しても年間、単発での講座を実施。アイシン高丘株式会社、アイシン化工株式会社、アイシン・エーアイ株式会社、株式会社アドヴィックスの支援で各 1 校ずつ地元の小学校（豊田市・西尾市・刈谷市）に対してプログラムを実施する。

これまでの実績によるカリキュラムの深まりをノウハウとして、地域資源を活かし、地域から講師を発掘できるようプログラムを実施する。

イ. アイシン環境学習プログラムをより多くの子どもたちに体験してもらうために、活動内容を積極的に広報し、グループ企業との関係性を深める。

ウ. 各コーディネーター業務の質を担保するため、担当者による月 1 回の定例会議を開催。情報共有および事例研究を行う。

エ. シンパシーワークショップにおいて使用する、川の生き物カードの開発とそれに付随する講師研修を実施する。

オ. 大学生の中・長期インターンシップにおいては、中小企業を中心に実施する。

カ. 次年度に向けた新たな教育 CSR プログラムを実施するため、広報に力を入れる。

<事業収支目標>

収入見込金額：1,300 万円、支出見込金額：1,000 万円

③ キャリア教育コーディネーター育成事業

今年度も「キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会」のもと、認定コーディネーターを一人でも多く輩出すべく、研修等実施する。今後のアスクネットの事業の収入基盤と成りうる研修スキームを構築し、エントリーコース修了者 20 名、実践コース修了者 10 名を目指す。また、一般に広くキャリア教育を理解してもらえるよう講座は 1 講座より受講可能とする。

<事業方針>

ア. 全国のコーディネーター育成団体とともに、全国組織としての研修システムを実施する。

イ. 中部地域のコーディネーター育成団体として、受講料を徴収し研修受講生を公募。研修プログラムを運営する。

ウ. 認定コーディネーター資格取得後の向上研修として事例検討会やスキルアップ研修などを実施し、資格取得者のスキル向上を行う。

エ. 次年度に向けた業務拡大へと繋がるよう、キャリア教育コーディネーター全国大会（名古屋開催）に向け、資格取得者はもとより、学校・大学・行政関係者を巻き込みながら、ネットワークの拡大・深化に努める。



＜事業収支目標＞

収入見込金額：200 万円、支出見込金額：180 万円

④ 出会いと挑戦の教育普及啓発事業

当団体の推進する「出会いと挑戦の教育づくり」を PR するとともに、教育に対して地域社会が協働し、子どもたちを支える仕組みづくりをめざす。具体的には、「出会いと挑戦」の教育を推進するための広報・講演活動、出会いと挑戦の教育を普及するための地域 NPO 団体、企業、教育機関、行政との連携を行う。

＜事業方針＞

- イ. キャリア教育の専門家による各種研修、講演活動を行い、広く市民に教育への理解を広げる。
- ウ. 他事業と連携し、地域団体、行政機関、企業等との協働を模索検討する。
- エ. 各種イベントを通じ、学生と社会人との出会いの場を提供する。
- オ. 会員増加促進運動に取り組む。

＜事業収支目標＞

収入見込金額：100 万円、支出見込金額：100 万円

⑤ 教育イベント推進事業

子どもたちが主体的な学びを広げることのできる地域の教育イベントの開催を推進・支援する。例年行われる、私学イベントに加え、その他の教育イベントにもアスクネットのキャリア教育の事業に関わる、社会人講師、教員、愛知私学教職員組合連合、大学生などのネットワークをつなげていくことで、互いに出会い、学び合う場をつくり、21 世紀に求められる教育のあり方を共有し、実現するコミュニティを形成する。

＜事業方針＞

- (1) 昨年度に引き続き、愛知私学コミュニティと協働で次の事業を行う。

項 目	計 画
愛知サマーセミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・教育コーディネーターフォーラム 2014 を開催する。 ・企画過程・当日の様子を取材し、ウェブサイトに掲載する。 ・事務局として日々の電話対応等を行う。 ・パンフレット・講座ガイド作成の際、支援をする。
オータムフェスティバル	<ul style="list-style-type: none"> ・企画過程・当日の様子を取材し、ウェブサイトに掲載する。 ・広報活動を積極的に展開する。
授業改革フェスティバル	<ul style="list-style-type: none"> ・企画過程・当日の様子を取材し、ウェブサイトに掲載する。



	・アスクネットの企画講座を運営する。
--	--------------------

(2) その他教育イベントに協力する。

<事業収支目標>

収入見込金額：329 万円、支出見込金額：300 万円

⑥ 教育団体協働推進事業

教育に関連する各種団体に対して、さまざまなサポートを提供することにより、学びあい育ちあう共同体の実現に貢献する。

<事業方針>

以下の団体との協働・支援活動に取り組む。

項 目	計 画
愛知私教連	私学教員特に教文部との連携強化により、各学校での課題をアスクネットのリソースを使って解決できる体制を構築する。
私学をよくする愛知父母懇談会	月 1 回の会議参加。情報化による事務支援に取り組む。父母懇役員・世話人名簿を作成する。ウェブサイトのメンテナンスを行う。
愛知県高校生フェスティバル実行委員会	高校生のニーズや要望をヒアリングし、より高校生の視点にたった事業展開を行う。
愛知中学校・高校	ウェブサイトの作成・更新を行う。
愛知私学奨学金資金財団	事務サポートおよびデータベースの管理を行う。
星が丘モデルプロジェクト	愛知淑徳大学のビジネス学部、交流文化学部合同の科目として、2 年次、3 年次の学生を対象に、Project Based Learning（問題解決型授業）における、チューターを務める。

<事業収支目標>

収入見込金額：480 万円、支出見込金額：475 万円

⑦ インターンシップ事業（マイチャレンジ・インターンシップ）

高校生の挑戦の場として公募型のインターンシップを推進する。対象は愛知県内の高校生とし、概ね 3 日間程度のインターンシップを実施する。また各事業所とアスクネットで作成した計画に従って実施を行い、事前事後学習および、インターンシップ報告会等を行う。安全面の確保として参加生徒には、昨年度同様「賠償責任保険」「傷害保険」の加入を行う。



＜事業方針＞

- ア. 公募型の取り組みを活かし、参加生徒による他校や他学年との交流や、事業先での幅広い学びの機会を提供することで、総合的・人間的学びとなるような場の提供と、プログラム開発を行う。
- イ. 全ての高校生が挑戦できる公募型のインターンシップの定着を図るために、本年度も、愛知県や教育委員会をはじめとした行政機関と連携を図りながら、公立、私立および各種学校、その他、企業、保護者への協力および活用を促す。
- ウ. インターンシップ継続の道筋を確保できるよう、資金面での支援を企業や市民等幅広い層に訴え、継続的に高校生のインターンシップが、地域の企業や市民によって支えられていく仕組みをつくる。
- エ. 高校生インターンシップの教育的効果を実証するため、過去の参加生徒と継続的なつながりを持ち、その後の影響について定期的な追跡調査を実施する。また、その結果について教育業界に幅広く公表する。

目標数値：参加生徒人数／ 80 名程度

＜事業収支目標＞

運営基金：427 万円 支出見込金額：400 万円 （収入は寄付金と助成金で行う）

⑧ 高浜市委託事業 学習支援事業

生活困窮者自立支援法が施行されるに伴い、生活困窮家庭の子どもに対し、貧困の連鎖を防止する学習支援事業を実施する。平成 27 年は中学生を対象に学習の機会を提供し、学習意欲・高校進学率の向上を目指し、将来への希望が持てるきっかけづくりを行う。

	平成 27 年度事業方針
ア	対象者の参加促進・支援 ① 案内チラシの作成・参加希望者の家庭訪問を行い、参加申し込みを得る。 ② 学習支援とプログラム策定と実施。
イ	学習スペースの運営 ① 週 1 日（土曜日または日曜日）の実施。夏休み期間中は週 3 日実施。 ② 参加者の出欠、学習支援ボランティアの管理監督、相談対応。
ウ	学習ボランティアの育成 ① 学習支援ボランティアの募集・育成。 ② 学習支援ボランティアに対する教育研修の実施。



エ	高浜市との連絡調整、業務報告
---	----------------

<事業収支目標>

収入見込金額：596 万円、支出見込金額：596 万円

⑨ 名古屋市委託事業（市民経済局地域振興部市民活動推進センター）協働コーディネート事業

行政だけでは手の届かない社会課題が山積する中で、大学、企業、NP0、行政、地域をつなぎ、名古屋市における市民活動団体への市民参加の促進、特に若者の参加を目指し、協働事業（インターンシップ）と協働会議（名古屋市における協働モデル策定）を行う。

<事業方針>

地域連動の教育を目指す大学と CSR に注力する企業とのネットワークを協働会議により作り上げ、次年度以降の協力体制に向けて連携のベースを構築する。

ア. 中京大学、名古屋市立大学と協働、ソーシャル・ビジネスインターンシップを実施する。

イ. NP0 団体との相互交流、大学教員との交流に向けた協働会議等の開催。

<事業収支目標>

収入見込金額：99 万円 支出見込金額：99 万円

⑩ 愛知县委託事業（産業労働部人材育成課）ものづくり魂浸透事業

平成 26 年度に実施した「技能五輪・アビリンピックあいち大会 2014」で醸成された、モノづくり技能尊重の機運を大会後も引き続き広めていくことで、技能者への憧れ・モノづくりへの関心を深めるとともに、モノづくりを支える人材を創出して産業の持続的な発展を支える。併せて、障害者の職業能力習得の促進に努めることで、障害者雇用への理解を深める。

	平成 27 年度事業方針
ア	県内学校での派遣講座の実施県内小中学校及び特別支援学校で実施される総合学習授業や工作の授業において、モノづくりを業としている熟練技能者（技能五輪メダリスト等）による実演披露や職業講話等を実施する。
イ	モノづくり体験講座の実施 11 月に開催予定の「あいち技能プラザ」の中で、期間中、主に子どもを対象とした来場者向けのモノづくり体験講座を実施する。



＜事業収支目標＞

収入見込金額：565 万円、支出見込金額：565 万円

（２）その他の事業

特筆なし。

以上
（文中敬称略）